

## 平成 19 年度 水循環再生モデル事業の概要

## 1 水循環再生モデル事業の実施

水循環の再生につながる環境技術の実証モデル事業を実施するとともに、地域協議会が今後取り組む地域のニーズと特性にあった先導的な取組をモデル事業として実施しました。

## (1) 環境技術実証モデル事業

水田の冬季湛水（安城市内、協力：明治用水土地改良区）

## 【調査内容】

- ・ 水量の変化に関する調査
  - ・・・現地測定では約 2 割が蒸発散し、残りの約 8 割が地下水かん養に寄与したものと考えられる。水田周辺でのしみ出しは確認できなかった。
- ・ 水質の変化に関する調査
  - ・・・藻類による生物浄化により、湛水した水はきれいになった。
- ・ 生物調査
  - ・・・カエルや水生昆虫が集まり、越冬する姿もみられた。

## (2) 地域活動モデル事業

## ○ 矢田川 身近な水辺再生と川健康診断

矢田川流域の上・下流協働による、河川敷の草刈り・清掃等による川辺のビオトープづくり、水循環再生指標を使ったモニタリング調査などを実施。

実施時期：平成 19 年 11 月 25 日（日）

実施場所：矢田川流域

（名古屋市守山区天子田 大森橋上流部）

「矢田川身近な水辺再生と  
川健康診断」の様子



## ○ 尾張水循環再生プロジェクト・大山川ルネッサンス07

大山川流域を対象に湧水の実態把握、源流から名古屋港までをたどる「水の旅」を実施。

湧水調査：4箇所実施

水の旅：平成 20 年 3 月 2 日（日）

市民四季の森（小牧市）

～庄内川水防センター

～藤前干潟

「水の旅」の様子（藤前干潟）

